

富岡甘楽地域における歯科保健の現状と課題

社団法人富岡甘楽歯科医師会

公衆衛生担当理事 黒澤良介

はじめに

富岡甘楽歯科医師会(会員38名)は、現在、平成4年5月に完成した富岡甘楽口腔保健センターに事務局を置き、地域歯科保健の充実をめざしています。また当歯科医師会には常勤歯科衛生士3名(1名は主に事務担当)が勤務し、管内の歯科保健事業に従事する歯科衛生士のリーダーとして、地域歯科保健活動の原動力になっています。

富岡甘楽歯科医師会は、平成5年に8020運動を含む公衆衛生活動の目標を具体化した「各ライフステージにおける歯科保健対策」(表1)を立案し生涯を通じた歯科保健の確立をめざしています。その対策の内容は、妊婦期の歯科保健指導に始まり、乳歯のむし歯予防対策、永久歯のむし歯予防対策、児童生徒の歯肉炎予防対策、成人・高齢者の歯科保健対策、歯科訪問診療、訪問口腔衛生指導、心身障害者(児)歯科診療までを含む総合的なものです。その中でも子供たちのむし歯予防を含む歯科保健対策は、その後の歯科保健対策の基礎となる、最も重要な課題として位置づけられています。子供たちのむし歯予防を含む歯科保健対策の成否が、その後の歯の寿命に大きく左右します。

今回、当地区の主な事業成果、今後の課題について述べ、健康日本21富岡版策定にあたり、市民の健康増進に役立つことを切に望みます。

表1 各ライフステージにおける歯科保健対策(8020運動の目標を達成するための歯科保健対策)。①富岡甘楽歯科医師会・公衆衛生委員会作成。

ライフステージ	妊婦胎児期	乳幼児期		学齢期			成人期	高齢期	障害者 寝たきり者		休日 歯科診療
対象	妊婦	乳幼児	幼稚園児 (4・5歳児) 保育園児	小学生	中学生	高校生	成人勤労者	高齢者	心身障害者	在宅寝たきり者	
そしゃく機能	発生	育成			確立		維持促進	維持回復	回復・維持		
主な歯科疾患	永久歯う蝕 歯周疾患	乳歯う蝕	永久歯う蝕 歯肉炎			歯牙欠損 歯周疾患 (歯周炎・歯肉炎)	永久歯う蝕 (特に根面う蝕・二次う蝕)	永久歯う蝕 (特に根面う蝕・二次う蝕)	永久歯う蝕 歯周疾患 歯牙欠損	応急処置 が必要な 歯科疾患	
子防対策	歯周疾患対策 口腔衛生指導 栄養指導 定期管理 乳歯う蝕対策 栄養指導	乳歯う蝕子防対策 口腔衛生指導・栄養 指導・フッ素塗布 定期管理	永久歯う蝕子防対策 口腔衛生指導・栄養指導・定期管理 フッ素洗口(保育園・幼稚園・小学校・中学校)・フッ素入り歯磨剤の普及 フッ素塗布 シーラント処置	歯肉炎子防対策 口腔衛生指導 栄養指導・定期管理			永久歯う蝕子防対策 口腔衛生指導・栄養指導・定期管理 (フッ素入り歯磨剤の普及)	永久歯う蝕子防対策 口腔衛生指導・栄養指導・定期管理	永久歯う蝕子防対策 口腔衛生指導・栄養指導 定期管理 (フッ素入り歯磨剤の普及)	永久歯う蝕子防対策 口腔衛生指導・栄養指導 定期管理	
歯科健診 歯科保健事業	母親学級	1歳6か月児健診 3歳児健診 母子歯科クリニック (保健所) むし歯予防教室 (甘楽町・妙義町・南牧村)	幼稚園歯科健診 保育園歯科健診 園医・歯科衛生士による 歯科保健指導	学校歯科健診 学校園医・歯科衛生士による 歯科保健指導と 養護教諭による継続的指導・管理			成人歯科健診 成人歯科健康相談 事業所歯科健診	高齢者歯科健診 高齢者歯科健康相談	心身障害者 歯科保健指導	訪問口腔衛生指導	
その他		ここに教室(富岡市) 幼児健診(下仁田町) 乳児健診(各市町村)	「フッ素洗口法」 (週5回法)の実地 (幼稚園・保育園の4・ 5歳児)	「フッ素洗口法」(週1回法)の実地(小学校・ 中学校)						甘楽・富岡 在宅ケアの 会への協力	
治療	治療勧奨	治療勧奨	治療勧告			治療勧奨	治療勧奨	心身障害者 歯科診療事業	在宅寝たきり者 訪問歯科診療	休日救急 歯科診療	
啓発	住民への啓発 ●健診・歯科保健事業の活用 ●講演会・研修会・説明会の実施 ●学校保健会・学校保健委員会の活用 ●保育園・幼稚園・学校での歯科保健指導(園医・校医・歯科衛生士) ●歯の衛生週間の活用(歯の健康フェア、よい歯のコンクール、歯科保健図画ポスターコンクール、母と子のよい歯のコンクールなどの活用) ●啓発用のパンフレットの作成・配布 ●市町村の広報を活用 ●歯科医院での日常的な啓発活動 ●その他										

1. 妊婦期(胎生期)の歯科保健対策

母親学級・親子学級(表3)という名称で、妊婦とその家族を対象に講話を中心に歯科保健指導を行います。妙義町、南牧村は歯科衛生士のみでの出勤です。

表2 母親学級・親子学級(歯科医師1名、歯科衛生士1名)

	富岡市	甘楽町	下仁田町	妙義町	南牧村
年間回数	4	3	3	2	1

2. 乳幼児期の歯科保健対策

富岡甘楽地区では、健診と口腔衛生指導を中心にしたむし歯予防対策が実施されてきましたが、あまり成果が見られず、3歳児のむし歯罹患状況が県内12保健所中最下位という状況が続いていました(表3、6、7)。そこで、平成5年度までに、全市町村の歯科保健事業に、3か月から6か月ごとのフッ素塗布(フッ化物歯面塗布)を導入しました(表4、5)。また、口腔衛生指導の内容を見直し、科学的根拠に基づく情報の提供に努め、「家庭でのフッ化物利用」の普及啓発を図りました。その結果、全市町村で3歳児のむし歯罹患状況が大幅に改善しました(表3、6、7)。

むし歯罹患状況の改善は、充実した口腔衛生指導による保護者の意識の変化、フッ素塗布による「歯質強化」、家庭でのフッ化物利用の普及による「エナメル質の再石灰化の促進」「歯垢中の酸産生能の抑制」などの相乗効果の結果だと考えています。

表3 富岡保健福祉事務所管内 3歳児健診の結果
dmf 歯数と県内70市町村中の順位

	平成3年度		平成11年度		平成14年度	
	dmf歯数	順位 / 70	dmf歯数	順位 / 70	dmf歯数	順位 / 70
富岡市	4.93	59位	1.46	10位	0.97	4位
甘楽町	4.89	58位	1.37	7位	1.14	8位
下仁田町	4.10	42位	1.35	6位	0.84	3位
妙義町	6.16	68位	0.84	1位	1.13	7位
南牧村	7.66	70位	0.86	2位	2.18	52位
管内合計	4.99	12位/12	1.39	1位/11	1.02	1位/11
群馬県	3.31		2.00		1.58	

表4 フッ素塗布開始年度

- 下仁田町 昭和63年度 幼児健診
平成3年度から甘楽町方式に変更
- 甘楽町 平成2年度 むし歯予防教室
- 妙義町 平成4年度 むし歯予防教室
- 富岡市 平成5年度 にこにこ教室
- 南牧村 平成5年度 むし歯予防教室

表5 乳幼児の歯科保健事業

	歯科保健事業名	年間開催数	対象者	歯科医師数	歯科衛生士数	フッ素塗布	フッ素塗布の実施方法・その他の特記事項	歯科単独事業
富岡市	10か月児健康診査	12回	10か月		3名		歯科衛生士による講話、個別指導	
	1歳6か月児健康診査	12回	1歳6か月	1名	5名		1歳6か月健診で希望者にフッ素塗布	
	にこにこ教室(2歳)	12回	2歳	1名	4名		2歳児の希望者にフッ素塗布	
	にこにこ教室(2歳6か月)	12回	2歳6か月	1名	4名		2歳6か月児の希望者にフッ素塗布	
	3歳児健康診査	12回	3歳	1名	5名		3歳児健診で希望者にフッ素塗布	
	はっぴいルーム	24回	ハイリスク児	(1名)	2名		希望者にフッ素塗布を実施。サハラライドの塗布。にこにこ教室に併設	
甘楽町	乳児健診	12回			1名			
	1歳6か月児健診	6回	1歳6か月	1名	2名			
	3歳児健診	6回	3歳	1名	2名			
	むし歯予防教室	12回	1歳から3歳6か月	1名	5名		1歳から3歳6か月まで、6か月ごとに合計6回、フッ素塗布を希望者に実施。初回到講話。ハイリスク児は、リコール間隔を1か月～4か月に短縮。	
下仁田町	乳児健診	6回			1名			
	幼児健診	12回	1歳から3歳8か月	1名	3名		1歳から3歳8か月まで、6か月ごとに合計6回、フッ素塗布を希望者に実施。初回到歯科衛生士による講話。	
	3歳児健診	3回	3歳	1名	3名		3歳児健診で希望者にフッ素塗布	
	定期健康相談	12回	健診後フォロー等		2名		ハイリスク児を対象にフッ素塗布を実施。サハラライドの塗布。	
妙義町	乳児健診	4回			1名			
	幼児健診	4回	1歳半・2歳・3歳	1名	1名			
	むし歯予防教室	6回	1歳から4歳児(入園まで)	1名	4名		1歳から4歳児(保育園・幼稚園に入園する)まで、4か月ごとにフッ素塗布を希望者に実施。初回到講話。ハイリスク児に対しては、リコール間隔を2か月に短縮。	
南牧村	乳幼児健診・むし歯予防教室	4回	1歳から4歳まで	1名	3名		1歳から4歳まで、3か月ごとに合計13回、フッ素塗布を希望者に実施。	

上記の事業で、歯科医師・歯科衛生士・保健師などが、ブラッシング指導・間食食事指導・フッ化物利用(家庭でのフッ化物利用を含む)の指導などを総合的に行っている。歯科医師が従事する事業では健診を実施している。

フッ素塗布は、いずれもフロアゲルを綿球法で塗布。フッ素塗布の開始年度は、下仁田町・昭和63年、甘楽町・平成2年、妙義町・平成4年、富岡市と南牧村・平成5年。家庭でのフッ化物利用としては、フッ素イオンスプレー(レノビーゴ)、フッ素洗口剤(ミラノール)、フッ化物配合歯磨剤などの使用を状況に応じて指導している。

表6 富岡保健福祉事務所管内 3歳児健診の結果 むし歯保有者率 / dmf 者率 (%)

	61年	62年	63年	元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年
富岡市	79.7	75.5	75.9	77.9	72.5	76.9	74.2	68.5	55.9	43.9	42.9	38.5	29.0	35.2	30.4	32.2	28.4
甘楽町	63.6	74.0	78.6	80.9	76.8	82.5	68.2	69.3	59.3	47.7	41.7	42.4	38.3	35.2	27.7	26.0	28.3
下仁田町	86.4	83.0	85.4	78.9	69.5	65.2	76.3	64.0	61.3	62.5	48.1	39.2	21.0	26.8	41.4	26.3	20.6
妙義町	80.0	71.6	69.6	80.6	90.2	77.2	58.1	65.9	48.7	51.4	32.4	41.2	35.1	27.0	25.0	12.5	33.3
南牧村	73.5	76.9	86.8	79.4	82.4	79.3	86.2	75.0	71.4	64.3	38.1	44.4	47.1	28.6	50.0	36.4	36.4
管内合計	77.7	76.0	78.3	78.8	74.3	76.4	73.0	67.9	57.0	48.0	42.7	39.6	30.5	33.8	30.9	29.7	28.0
群馬県	64.4	62.4	63.7	63.8	62.8	60.6	58.8	57.0	55.1	50.3	48.7	46.1	44.6	40.7	38.5	37.7	35.8

表7 富岡保健福祉事務所管内 3歳児健診の結果 むし歯数 / dmf 歯数 (本)

	61年	62年	63年	元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年
富岡市	4.83	4.78	5.13	4.51	4.72	4.93	4.64	3.99	2.87	2.31	2.29	1.65	1.29	1.46	1.16	1.20	0.97
甘楽町	3.54	5.60	5.51	5.89	5.61	4.89	4.26	4.35	3.57	2.38	1.96	1.65	1.57	1.37	1.00	1.04	1.14
下仁田町	6.90	6.55	6.29	5.06	4.52	4.10	4.79	3.85	3.85	2.08	3.00	1.62	0.79	1.35	1.66	1.25	0.84
妙義町	4.48	4.34	4.34	5.05	5.45	6.16	3.05	3.23	2.51	3.05	1.82	1.56	1.65	0.84	0.81	0.47	1.13
南牧村	4.59	3.85	6.37	5.91	7.12	7.66	7.52	7.92	3.67	2.64	1.38	2.33	2.06	0.86	1.10	0.64	2.18
管内合計	4.92	5.11	5.43	4.91	5.00	4.99	4.61	4.04	3.08	2.33	2.26	1.65	1.32	1.39	1.15	1.13	1.02
群馬県	3.56	3.50	3.63	3.59	3.57	3.31	3.00	3.02	2.85	2.66	2.41	2.22	2.10	2.00	1.79	1.80	1.58

現在でも、フッ素塗布を実施している歯科保健事業に参加していない児が、転入者を含めて3歳児健診受診者の2割程度を占めています。歯科保健事業に参加していない児の中にも、「かかりつけ歯科医」を持ち定期的に予防処置を受けている者も含まれていますが、健診未受診者にむし歯が多い傾向があります。今後は、市町村の歯科保健事業へ参加しない児や参加回数が少ない児への対策が大きな課題です。

3. 園児期(永久歯萌出開始時期)の歯科保健対策

永久歯のむし歯予防対策としては、従来の歯科保健対策の充実と同時にフッ素洗口の普及をめざしています。フッ素洗口は、昭和61年度に甘楽町立の4幼稚園で開始されました。平成4年度に富岡市の2保育園、平成5年度には富岡市・下仁田町・妙義町・南牧村の11保育園・2幼稚園で新たに開始され、急速に普及しました。さらに、平成6年度に甘楽町の1保育園、平成7年度に富岡市の8保育園、平成8年度に富岡市の3幼稚園、平成15年度に富岡市の2幼児園で開始。廃園によるフッ素洗口実施施設の減少もありましたが、現在、富岡甘楽地区の幼稚園・保育園・幼児園31施設中の30園でフッ素洗口が実施されています。希望者が対象ですが、実施率は97%以上です(表8)。

その結果、平成7年度以降は、甘楽郡の小学校1年生の永久歯むし歯罹患状況がDMF歯数・DMF者率とも郡市別で県内の1位になっています。また、平成9年度以降は富岡市も小学校1年生の永久歯のむし歯罹患状況が大幅に改善しています。また各市町村31園で、歯科衛生士による寸劇、手作り模型などを使う巡回歯科保健指導も行っています。園児の好奇心を引き出し、園児自らの体の健康を考える姿勢につながると通年行われています。

表8 フッ素洗口実施状況〔富岡甘楽地区幼稚園・保育園・幼児園〕2003年〔平成15年度〕

施設名〔*印は公立〕		在園児数	実施数	未実施数	実施率〔%〕	開始時期	備考
富岡市	東富岡保育所 *	44	42	2	95.5%	平成7年7月	
	中高瀬保育所 *	39	39	0	100.0%	平成7年7月	
	黒岩保育所 *	37	37	0	100.0%	平成7年7月	
	富岡保育所 *	26	24	2	92.3%	平成7年7月	
	額部保育所 *	59	57	2	96.6%	平成8年4月	平成8年度・新設
	ひばり保育園	96	92	4	95.8%	平成7年7月	
	すみれ保育園	46	45	1	97.8%	平成5年3月	
	いずみ保育園	48	47	1	97.9%	平成5年5月	
	南蛇井保育園	15	14	1	93.3%	平成7年8月	
	一ノ宮保育園	60	59	1	98.3%	平成5年7月	
	高瀬保育園	62	62	0	100.0%	平成5年1月	
	丹生保育園	28	28	0	100.0%	平成7年9月	
	一峰保育園	42	42	0	100.0%	平成7年6月	
	かしの木保育園					未実施	4・5歳児 45名
	富岡幼稚園	60	60	0	100.0%	平成8年7月	
	甘楽幼稚園	65	60	5	92.3%	平成8年6月	
	七日市幼稚園	106	104	2	98.1%	平成8年7月	
	高瀬幼児園	64	57	7	89.1%	平成15年9月	9/30開始
	一ノ宮幼児園	41	40	1	97.6%	平成16年1月	1/19開始
	富岡市合計	938	909	29	96.9%		6/5 現在
甘楽町	小幡幼稚園 *	57	57	0	100.0%	昭和61年12月	
	秋畑幼稚園 *	12	12	0	100.0%	昭和61年12月	
	福島幼稚園 *	44	44	0	100.0%	昭和61年12月	
	新屋幼稚園 *	59	59	0	100.0%	昭和61年12月	
	かんら保育園 *	68	67	1	98.5%	平成7年3月	
	甘楽町合計	240	239	1	99.6%		7/4 現在
下仁田町	下仁田保育園 *	22	22	0	100.0%	平成5年7月	
	馬山保育園	37	32	5	86.5%	平成5年6月	
	小坂保育園	7	7	0	100.0%	平成5年6月	
	かぶら保育園 *	16	16	0	100.0%	平成5年7月	
	青倉保育園	48	48	0	100.0%	平成5年6月	
	下仁田町合計	130	125	5	96.2%		6/26 現在
妙義町	妙義幼稚園 *	46	45	1	97.8%	平成5年7月	
	妙義保育園	45	43	2	95.6%	平成5年6月	
	妙義町合計	91	88	3	96.7%		6/27 現在
南牧村	さくら保育園	25	24	1	96.0%	平成5年6月	
	南牧村合計	25	24	1	96.0%		6/24 現在
富岡甘楽地区合計 (幼稚園・保育園・幼児園)		1,424	1,385	39	97.3%	平成16年1月19日現在 フッ素洗口実施施設数 31	

4. 学齢期(混合歯列期から永久歯列期の完成)の歯科保健対策

富岡甘楽地区では、小中学校へのフッ素洗口普及が最大の課題になっています。医師会・薬剤師会の強力な支持、市町村保健担当課の積極的な協力に加え、住民の支持があるにもかかわらず、学校関係者の協力が得られず、小中学校でフッ素洗口が実施できない状況が続いています。

このような状況を背景にして、次善の策として、小中学生が「家庭で実施するフッ素洗口」を、町が予算化し支援する試みが、平成10年度から甘楽町、下仁田町で始まっています。また、富岡市では平成14年に学童保育所(所内の費用で賄う。額部学童クラブ、20～30名)においてフッ素洗口が始まりました。

「家庭でのフッ素洗口」では、申し込み状況は8割と高い数値を示しますが(表8)、実際、家庭でのフッ素洗口実施においては確実、継続性に疑問が残る(表11)、学校での集団の実施法が望まれます。

表9 小中学生の家庭におけるフッ化物洗口申し込み状況

年度	対象者	申し込み者	
		人数	率(%)
10	640	512	80.0%
11	726	586	80.7%
12	720	591	82.1%
13	807	660	81.8%
14	879	710	80.8%

表10 平成12年度 フッ化物洗口調査
平成13年1月実施

■配布数 586人
■回収数 561人
■回収率 95.7%

表11 あなたのお子様は、現在フッ化物洗口をしていますか。

	人数	割合
している	468	83.4%
週に5日以上	149	26.6%
週に3日～4日	120	21.4%
週に1日～2日	59	10.5%
たまに	129	23.0%
していない	93	16.6%

5. 歯肉炎予防対策を主目的にした歯科衛生士による巡回歯科保健指導

管内全市町村で、歯科衛生士による巡回歯科保健指導が実施されています(表12,13)。

対象は、保育園・幼稚園の園児と保護者、小学校中学校の児童生徒です。主な目的は子供たちの歯肉炎予防対策ですが、将来は歯周炎予防につながることを期待しています。また歯科衛生士による指導は、フッ化物配合歯磨剤の使用など、むし歯予防に対する正確な知識の普及啓発にも大きな役割を果たしています。

歯科保健指導の実施には、何人ものベテラン歯科衛生士が必要ですが、歯科医師会の常勤歯科衛生士と共に、在宅歯科衛生士が大きな役割を果たしています。

表12 歯科衛生士巡回指導の経緯

平成4年度	歯科衛生士の無償派遣(富岡甘楽地区の小中学校・園での歯科保健指導を希望する施設) (甘楽町で歯科衛生士巡回指導全施設予算化される)
平成5年度	下仁田町で歯科衛生士巡回指導全施設予算化される
平成6年度	妙義町で歯科衛生士巡回指導全施設で算化される
平成7年度	南牧村で歯科衛生士巡回指導全施設予算化される
平成8年度	富岡市の保育園・保育所・幼稚園での歯科衛生士巡回指導予算化される
平成9年度	富岡市小学校1・5年生(全学校の全クラス)歯科衛生士巡回指導、市教育委員会で予算化される

表 13 歯科衛生士巡回指導の実施状況

平成 10 年度	富岡市	妙義町	南牧村	下仁田町	甘楽町
実日数	7 日	3 日	4 日	10 日	11 日
小学校	9 校(1301 名)	2 校(327 名)	2 校(126 名)	5 校(438 名)	5 校(1028 名)
中学校	0	1 校(220 名)	2 校(98 名)	2 校(417 名)	3 校(446 名)
歯科衛生士延数	14 名	12 名	10 名	23 名	26 名
平成 11 年度					
実日数	1 日	3 日	4 日	0	14 日
小学校	1 校(75 名)	2 校(307 名)	2 校(119 名)	0	5 校(1035 名)
中学校	0	1 校(222 名)	2 校(90 名)	0	3 校(592 名)
歯科衛生士延数	1 名	12 名	8 名	0	45 名
平成 12 年度					
実日数	0	2 日	4 日	0	13 日
小学校	0	2 校(289 名)	2 校(99 名)	0	5 校(962 名)
中学校	0	0	2 校(87 名)		3 校(569 名)
歯科衛生士延数	0	8 名	8 名	0	36 名
平成 13 年度					
実日数	0	2 日	4 日	0	12 日
小学校	0	2 校(273 名)	2 校(85 名)	0	5 校(958 名)
中学校	0	0	2 校(86 名)	0	3 校(546 名)
歯科衛生士延数	0	8 名	8 名	0	42 名
平成 14 年度					
実日数	0	2 日	0	0	9(13)日
小学校	0	2 校(271 名)	0	0	5 校(924 名)
中学校	0	0	0	0	3 校(506 名)
歯科衛生士延数	0	8 名	0	0	25(31)名
平成 15 年度					
実日数	0	2 日	0	0	8 日
小学校	0	2 校(249 名)	0	0	4 校(941 名)
中学校	0	0	0	0	3 校(504 名)
歯科衛生士延数	0	8 名	0	0	24 名

()は、事後処置を含む。

表 14

平成10年度をピークに、学校での巡回歯科保健指導の出動が減少しています。富岡市においては、歯科保健指導の予算を教育委員会でまとめていたものを、各学校の自主性に任せるとすることで各学校に予算を分配した時期から減少していると考えられます。養護教諭による指導も優れますが、地域の歯科衛生士(専門職)による歯科保健指導を子供たちが受けることは、新学習指要領(表 14)の総合学習の目標と一致するヘルスプロモーション(人々が自らの健康をコントロールし、改善することができるようにするプロセスである)の考え方に沿うものと思います。

2001 年、群馬県が中心になり「元気県ぐんま 21」が策定されました。元気県ぐんま 21 では、学齢期の歯科保健の目標として、「12 歳で一人平均むし歯数 1 歯以下」、「フッ化物配合歯磨剤の使用率 90%以上」、「フッ素洗口をしている人の割合 50%以上」、「過去1年に個別の歯口清掃指導を受けた人 30%以上」という4項目の具体的な目標が掲げられています。今後は、小中学校においても、この目標にそった歯科保健対策を実施していく必要があります。

平成15年12月26日

学習指導要領の一部改正について (一部抜粋)

各学校の裁量により創意工夫を生かした特色ある取組を行うことによって、児童生徒に、知識や技能に加え、学ぶ意欲や、自分で課題を見付け、自ら学び、主体的に判断し、行動し、問題を解決する資質や能力などの確かな学力を育成し、生きる力をはぐくむという新学習指導要領のねらい……

5. 成人・高齢者歯科保健対策

市町村の成人・高齢者の歯科健診としては、節目健診(対象40歳・50歳)・70歳歯科健診(いずれも下仁田町)が集団健診として定期的に行われています。また、事業所健診としては、農団健診(JA甘楽富岡)が毎年実施されています。

表15 富岡甘楽地区の成人歯科健診

- **農団健診**
県歯科医師会主導で県内全域で実施
富岡甘楽地区では、JA甘楽富岡本所、下仁田支所
- **下仁田町**
 - 成人歯科健診節目健診(40歳、50歳)
平成5年度から歯科健診と歯科保健指導を実施
 - 70歳歯科健診
平成8年度から実施。老人医療受給者証交付時に実施。
- **富岡市国保成人歯科健診(平成13年度開始)**
- **管内の他市町村**
成人・高齢者に対する歯科保健指導は実施されているが、毎年継続的に行われる歯科健診事業は未実施。

表16 富岡市国保歯科健診

年代	年 度		
	13年	14年	15年
20	1	0	1
30	0	1	0
40	1	2	1
50	2	2	1
60	8	1	2
70	1	1	2
受診者数 合計	13	7	7
国保加入者数(人)	19979	20635	20976
受診率 (%)	0.06	0.03	0.03

富岡市では、平成14年1月から、歯科医院で行う個別健診の方法で、20歳以上の国保被保険者を対象に歯科健診事業を開始しました。受診率の問題や歯科保健指導内容の統一など、多くの問題を抱えていますが(表16)、成人歯科健診の新しい試み(対象が20歳以上で毎年継続して受診可能)として注目されています。下仁田町でも、平成15年1月から国保成人歯科健診が始まりました。

その他、市町村の職員に対する歯科保健指導や研修会、保健推進員の研修会、食生活改善推進員の研修会、幼稚園・保育園の保護者に対する歯科保健指導、健康大学、禁煙教室、糖尿病教室、健康祭など、成人の健診や歯科保健指導を実施する機会が多くあります。

6. 心身障害者(児)の診療

平成6年10月から、心身障害者(児)の診療を、毎週水曜日に富岡甘楽口腔保健センターで実施しています。小規模の歯科医師会で心身障害者の診療を独自に実施しているところは、全国的にもあまりありません。

平成14年度は、年間診療日数50日、新患者数198名、延患者数776名でした。

表17 心身障害者の歯科診療

新患者数/延患者数 (平成6年10月開始)

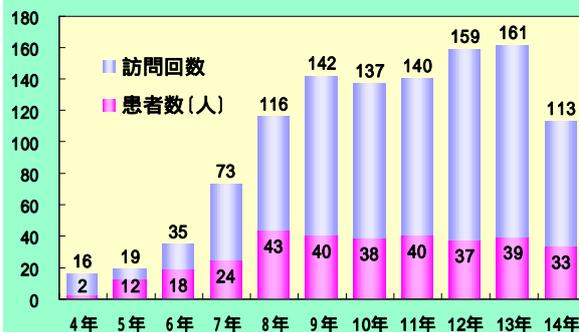


7. 歯科訪問診療・訪問口腔衛生指導・施設の健診と口腔衛生指導

平成4年度から、歯科医師会として訪問診療・訪問口腔衛生指導を開始しました。現在は特殊診療委員会を中心に、在宅、施設、歯科のない病院などに対して、訪問診療・訪問口腔衛生指導を実施しています。平成14年度には、33件の依頼があり、延べ113回の訪問診療を行いました。

また、富岡甘楽地区にある施設に積極的に出向き、歯科健診と口腔衛生指導、職員に対する教育などを実施しています。歯科健診や口腔衛生指導を必要とする施設には、介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)、介護老人保健施設、特定施設入所者生活介護(有料老人ホーム)、デイサービス、身体障害者療養施設、知的障害者更正施設、障害者福祉作業所などがあります。

表18 歯科訪問診療
患者数・訪問回数



8. 住民への啓発活動

下記のようなさまざまな機会を利用して、各種啓発活動を実施し確実に成果をあげています。

- ・健診・歯科保健事業の活用
- ・講演会・シンポジウム・研修会・説明会の開催(主催、講師の派遣など)
- ・学校保健会・学校保健委員会の活用
- ・保育園・幼稚園・学校での歯科保健指導(園医・校医・歯科衛生士)
- ・甘楽富岡学校保健だよりの発行 毎回 約 10,000 発行
- ・歯の衛生週間の活用
 - 歯の健康フェア(毎年6月第一日曜日)
 - よい歯のコンクール
 - 歯科保健図画・ポスターコンクール
 - 歯科保健啓発標語コンクール
 - 母と子のよい歯のコンクール など
- ・啓発用パンフレットの作成・配布
- ・市町村の広報の活用
- ・歯科医院での日常的な啓発活動
- ・その他

まとめ

8020の実現のためには、歯を失う原因の約9割を占めるむし歯と歯周病に対する効果的な予防対策の実施が必要不可欠です。富岡甘楽歯科医師会は、効果的なむし歯予防対策の確立のためには、フッ化物を利用した各種むし歯予防対策(フッリデーション、フッ素洗口、フッ化物配合歯磨剤の利用、フッ素塗布など)の普及が必要不可欠だと考えています。また、歯周病予防対策としては、学校歯科保健での歯肉炎予防対策の充実、市町村や職場での成人歯科健診の充実、「かかりつけ歯科医」の機能を活用した予防対策の推進などが重要だと考えています。

今後、富岡甘楽地区においては、遅れが目立つ学齢期のむし歯予防対策の充実、さらには、最も優れたむし歯予防対策で、各種フッ化物利用の原点でもあるフッリデーションの実施等を視野に入れた活動が必要になると考えています。フッリデーションが実施されれば、子供から成人、高齢者、自分自身で口腔内の健康管理が十分にできない心身障害者まで、給水地域で生活する住民すべてが、その恩恵を受けることができます。さらに、フッリデーションの実施により、生涯にわたるむし歯予防対策が確立され、今後の8020運動推進のための基盤が整備されたと考えています。